

総務文教常任委員会

開催日:令和2年9月17日(木)

参加者:太宰府市文化協会(6名) 議員(6名)

コロナ禍における文化協会及び文化・芸術の現状を把握し、今後の議論に反映させるために、今回、文化協会との意見交換会を実施しました。

文化協会では、イベントやコンサートの準備が完了したところでコロナのために中止になり、チケットも販売されていたため、共催者とともに大きな損害を受けました。会員の負担軽減のために会費を半額にするとともに、行政、議会が経費削減していることから補助金の一部を返還しました。

議員からは、補助金の返還をする前に相談等すべきだったのではとか、体育協会のように市事業の指定管理を受け財源確保をしてはどうかなど、活発な質疑や提案がなされました。

環境厚生常任委員会

開催日:令和2年10月2日(金)

参加者:太宰府市民生委員児童委員連合協議会(20名) 議員(6名)

参加者の皆さんから寄せられた主な意見としては、次の通りです。

- ・民生委員の本来の仕事は高齢者の個別の生活支援であるが、児童委員としての、また地域福祉の担い手としての役割が拡大し、複眼的なフォローの必要性を感じる。
- ・行政にも包括的な支援体制を構築すると同時に、相談する側の視点に立った総合的な窓口を設ける工夫をしてほしい。
- ・住民の自主的な活動の活性化が、これから重要になってくるのではないだろうか。

これらの現場からの寄せられた生の声を、今後の新たな福祉のあり方につなげられるよう、委員会として力を尽くしていきます。

建設経済常任委員会

開催日:令和2年10月9日(金)

参加者:太宰府市商工会青年部(10名) 議員(5名)

コロナ禍のなかで商工業者皆さんの生の声を聞くことで、現状を知ることができました。

現状について建設経済常任委員会として市の執行部に伝え、問題の解決に向けて執行部と共に1つでも2つでも前進していきます。また、意見交換の場を毎年設ける事によって、商工業者の意見が集約できて行くと考えます。

各常任委員会の報告書及びアンケート結果は市議会ホームページに掲載しています。



◇編集後記◇

私が選ぶ2020年一番の笑顔は、はやぶさ2のプロジェクトマネージャー、津田雄一さん。

「やった！」というのではなく、「プレゼントを届けられた」という笑顔に思えてならなかった。すごく当たり前の笑顔を、しかし満面に浮かべてくれていたと思う。

コロナ禍で、「エッセンシャルワーカー」という言葉が脚光を浴びた。よかつたと思うけど、「いまさら」という違和感もある。カタカナ語だし、なんだか一部の人だけをさしているように感じてしまう。「働く人」を軽んじすぎる社会になっていたのだと感じた。昔から「職に貴賤なし」と言っていたと思うのだが。

当たり前前に思えることが、実はとても大変なことだったと知ることができた2020年。2021年も、一日一日を、一人一人を、大切にしていきたいと思う。

(毅)

議会広報特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員	委員長	委員
柳原	笠利	入江	橋本	藤井	木村	原田
莊一	毅	壽	健	雅之	彰人	久美子